

島エコだより No.05

2022年 February



赤瓦屋根

沖縄らしい景観としてよく見られる赤瓦の屋根は、夏の強い日差しを凌ぎ、白色の漆喰で継目を固め台風などの強い風にも耐えられるように工夫されていて、沖縄の気候や自然環境に調和した昔ながらの生活文化です。

省エネライフを考えよう！

近年、様々な人間活動から排出される温室効果ガス(二酸化炭素等)の増加等に伴う気候変動によって、記録的な高温や大雨、大規模な干ばつなど、世界各地で異常気象や自然災害が発生しています。

また、沖縄県の二酸化炭素排出量の約半分が「電力」の使用によるもので、再生可能エネルギーによる発電や省エネルギーの推進が効果的な気候変動対策となります。今までのライフスタイルを見直し、無理をせず、生活様式にあった賢い省エネライフを考え、実践しましょう。



これからの省エネライフ(気候変動対策)

低炭素型製品の選択

LED照明、エアコン、冷蔵庫等の省エネ型製品を選ぶ。光熱費の削減にもつながり、長期的には家計にもお得。



低炭素サービスの選択

ごみの削減とリサイクル

移動する際は公共交通機関や自転車を利用する。自治体のルールに沿ってごみを分別、リサイクル率を向上させ、ごみを減らす。



自動車と正しく付き合う

エコドライブ(ふんわりアクセル、アイドリングストップ等)を心がけ、ハイブリッド車やEV車の利用も検討する。



自然災害や異常気象に備えよう！

台風、集中豪雨、高潮、河川氾濫等について、地域の情報を得て適切に備えよう

・ハザードマップや土砂災害区域の確認、停電時や避難時の常備品をあらかじめ準備する。

これまでの経験にとらわれない熱中症対策を心がける

・真夏日や熱帯夜の増加に備え、これまでの経験にとらわれず熱中症に注意する。



特集『えこちゃれシート』を作ろう!!

電気や水を節約する・ゴミを減らすなど、私たちにも出来る地球にも家計にもやさしいエコライフにチャレンジしよう。まずは、『えこちゃれシート』(エコライフチャレンジシート)を作ろう。

『えこちゃれシート』の作り方

- ①家族みんなで今までの生活行動を思い返して、気候変動や様々な環境問題とのつながりを考え、できそうな「エコな行動」を一覧表に記入する
 - ②それぞれの「エコな行動」を分類(節電、節水、ごみ削減、その他など)、“すでにやっている” “すぐにできる” “考え中”(行動するには準備が必要な物など)のどちらかの欄に○を記入する
 - ③1カ月間実践して、“毎日できた◎” “半月以上できた○” “半月未満できた△” “できなかった×” 1カ月の成果欄に記入する
- ※毎月シートを見ながら、実践状況を振り返り内容を見直して再度チャレンジしよう!

えこちゃれシート (作成例)

令和4年2月

	エコな行動	分類	やっている	すぐにできる	考え中	1カ月間の成果
1	使わない電気は必ず消す	節電		○		◎
2	10分早めの消灯	節電		○		○
3	冷蔵庫は少なめにに入れる	節電	○			△
4	テレビは1日時間以内	節電	○			○
5	LED照明に変える	節電			○	×
6	歯磨きは水をコップに入れて使う	節水	○			◎
7	お風呂はシャワーですます	節水	○			◎
8	買い物はエコバックを使う	ごみ削減	○			◎
9	食事は全部食べる	食品ロス ごみ削減		○		○



参考: おきなわ環境教育
プログラム集(社会教育編)
⑤ [CO²CO²(コツコツ) ダイエット]



貸出物のご案内

地域環境センターでは、環境に関する図書・DVD・パネル等の教材を収集し、無料で貸し出しを行っております。イベントや学習会などにどうぞご利用下さい。

☆オススメ書籍



図解でわかる カーボンリサイクル

一般財団法人
エネルギー総合工学研究所 編著
発行所: (株)技術評論社
.....
エコでクリーンなエネルギーとして
注目されるカーボンリサイクルのし
くみ、実践方法がよくわかります。



図解でわかる 14歳から知る 気候変動

著者: インフォビジュアル研究所
発行所: 太田出版
.....
SDGsのひとつに掲げられてい
る気候変動について図解を用い
て、わかりやすく解説しています。



ドローダウン 地球温暖化を逆転 させる100の方法

著者: ポール・ホーゲン
発行所: 山と溪谷社
.....
世界をリードする科学者と政
策立案者の綿密な調査に基づ
く、地球温暖化を逆転させる
最も確実な100の解決策



環境学習や、沖縄県地域環境センターへ

沖縄こどもの国チルドレンズセンター1階にある沖縄県地域環境センターでは、環境図書の閲覧ができるほか、環境教材の貸し出しや環境学習相談、地域や学校等での出前講座・自然観察会・リサイクル工作・啓発イベント等を実施しています。相談は随時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

<https://kankyo-center.okinawa>





こどもエコクラブ情報コーナー



2021年度 こどもエコクラブ「全国エコ活コンクール」壁新聞部門 応募作品

こどもエコクラブでは、子ども達の日頃のエコ活動を応援するため、「全国エコ活コンクール」を実施しています。コンクール参加のため、本年度は、本部町の「もとぶ元気村エコクラブ」、恩納村の「OMRCこどもエコクラブ」、南城市の「ECOHONU(エコホヌ)」、竹富町西表島の「西表ヤマネコクラブ」から壁新聞が届きました。



もとぶ元気村エコクラブ

【子どもたちからのメッセージ】

自然を守るためにごみを捨てたり、とばされないように気をつけたいです！ひろったゴミは万華鏡のようにリサイクルできるものもあるのでためしてみてください！



ECOHONU(エコホヌ)

【子どもたちからのメッセージ】

4人という少ない人数でも続けられる根気と、海をキレイにしたいと思う熱意はどこにも負けません！！



OMRC こどもエコクラブ

【子どもたちからのメッセージ】

私たちが活動した恩納村でのエコクラブでは、「海に流れ着く漂着物と、近海に住むお魚を調査しよう！」というテーマで活動しました。



西表ヤマネコクラブ

【子どもたちからのメッセージ】

西表ヤマネコクラブでは、西表のことをもっと知りたい、調べたい、きれいにしたいをテーマに活動しています。

◇地域環境センターから一言◇

どの壁新聞もとてもわかりやすくまとめられていて、自然体験や生きもの観察、ビーチクリーンなど日頃のエコロジカルあくしょんに、楽しく元気よく取り組む様子が伝わってきました。

応募作品は、環境大臣賞・文部科学大臣賞などが選考委員会で決定されます。どちらのクラブも受賞できるように応援しています。

☆こどもエコクラブ メンバー募集中☆

こどもエコクラブとは、幼児(3歳)から高校生までなら誰でも参加できる環境活動のクラブです。地域環境センターでは、エコクラブ事務局としてクラブ活動を支援・応援していきますので、興味のある方は、まずは、地域環境センターまでお問合わせください。

- メンバー対象年齢:3歳~18歳(高校生はサポーター登録可)
- 登録料・年会費:無料 詳しくはこどもエコクラブHPへ▶



(令和3年11月～令和4年1月)

沖縄県地域環境センター 主な活動報告



12/5・12/12『砂浜の観察とマイクロプラスチック調査 連続講座』

1日目は、うるま市の海中道路で近頃大量に流れ着いた軽石や漂着ごみの様子、砂浜の生き物たちの観察と砂の採集を行いました。2日目は、採集した砂からマイクロプラスチックをより分け集計作業を行いました。2日間の講座を通して、海ごみやマイクロプラスチックの問題に触れ、改めて環境保全の大切さを実感することができました。



啓発活動実績

□環境教育出前講座

- 11/9(火) 宮古島市下地小学校『プラスチックな毎日』
- 11/9(火) 恩納村立安富祖小学校『源河川の観察会』
- 11/12(金) 石垣市立宮良小学校『ミライのエネルギー』
- 11/12(金) 石垣市立大本小学校『プラスチックな毎日とみつろうラップ作り』
- 11/15(月) 那覇市立松島小学校『森の指令ゲーム』
- 11/17(水) 西原町立西原小学校『世界自然遺産と沖縄の自然や生き物』
- 11/18(木) 北中城村立北中城小学校『プラスチックな毎日』
- 11/21(日) 宮古島市グリーンセンター『魅力あふれる琉球列島の自然と生き物たち』
- 11/25(木) 竹富町立白浜小学校『プラスチックな毎日とみつろうラップ作り』
- 11/27(土) 沖縄市中央公民館『温暖化って何?環境にやさしいみつろうラップ作り』
- 11/29(月) 糸満市立光洋小学校『報得川(干潟)の渡り鳥』
- 12/1(水) 沖縄市立山内小学校『リサイクル工作～ペーパービーズ作り～』

- 12/8(水) 西原町立西原東小学校『環境問題って何だろう?』
- 12/9(木) 県立石川高等学校『ミライのエネルギーとプラスチックな毎日』
- 12/13(月) 北谷町宇地原公民館『自然素材に親しもう～しめ縄作り～』
- 12/16(木) 恩納村立仲泊小学校『源河川の観察会』
- 1/13(木) 宜野湾市立大山小学校『海の自然と私たちの暮らし』オンライン
- 1/21(金) 県立泊高等学校『廃棄物問題』オンライン
- 1/25(火) 宜野湾市立はごろも小学校『環境と私たちの暮らしとのつながり』オンライン

□環境啓発体験プログラム/自然観察会

- 11/27(土) 『カガクあそびin久米島ーパタパタ鳥を作るー』
- 11/28(日) 『ZOOMで身近な生きものさがし』オンライン

令和4年度 環境啓発活動の予定

令和4年度の環境啓発活動につきましては、新型コロナウイルス感染状況を踏まえ感染防止対策を施した上で、年間を通して様々な自然観察会や体験講座、出前講座の開催を予定しております。

自然観察会



- ・夜の生き物の観察会(6月ごろ)
- ・海の生き物観察会(7月ごろ)
- ・地域の森の生き物観察会(8～11月)
- ・身近な生き物観察会(5～2月)
- ・星空観察会(11月ごろ)
- ・野鳥観察会(1月ごろ)

体験講座



- ・リサイクル体験工作(5～2月)
- ・自然・生き物・標本作り体験講座(7～11月)
- ・防災体験講座(9月ごろ)

詳細については、決まり次第随時、ホームページ・情報誌等でお知らせいたします。
※最新講座情報・参加申し込みはホームページをチェック!



令和4年2月(No.5)

発行者 **沖縄県環境部環境再生課**

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2064 FAX.098-866-2497

編集・お問い合わせ先

公益財団法人 沖縄こどもの国
(沖縄県地域環境センター)

〒904-0021 沖縄市胡屋5-7-1 TEL.098-933-4190 FAX.098-932-1634
https://kankyo-center.okinawa Mail: kankyo-center@okzm.jp



Facebookアカウント

@okinawakankyocenter



twitterアカウント

@kankyookinawa

